

「1分で理解できる解答」を書く力を鍛える

「動画でわかる 2025年度・技術士二次試験対策」に関する動画

■8項目のテーマ

1. 2025年度・技術士二次試験対策の概要
2. 記述式試験の特徴を考えた受験勉強をする
3. 「“解答を書く力”を鍛える」の概要
4. 「1分で理解できる解答」の概要
5. 「1分で理解できる解答」を書く力を鍛える ◀
6. 文に変換する力を鍛える
7. 文の作成力を鍛える
8. 日常業務の中で“解答を書く力”を鍛える

1

◆ “解答を書く力”とは、以下の3つの力の総合力

- 「1分で理解できる解答」を書く力 ◀
- 文に変換する力
- 文の作成力

2

慣れることが鍛えること

- ◆ 「1分で理解できる解答」を書く力を鍛えることとは、「1分で理解できる解答」の書き方に慣れること
- ◆ 慣れることで、試験場で問題を読んだら以下ことがすぐにできる
 - 解答の要点と要点の説明を考えよう
 - 解答の要点を解答の冒頭に書きこの要点の説明をその後に書こう

3

- ◆ 慣れることで、問題を読んでから解答を書くまでのことが単純化(解答の書き方の“型”を持つ)
- ◆ 型を持つことで解答を考えることに集中できる
- ◆ 日常業務の中で慣れるのが、「1分で理解できる解答」の書き方に慣れるための最も有効な方法

4

日常業務の中で慣れる

- ◆ 日常業務の中で、「6つのルールと18の書き方」での「書き方1: 要点を冒頭に書く」を使って技術文書を書く
 - 「書き方1: 要点を冒頭に書く」とは、内容の要点を冒頭に書き、要点の説明をその後に書くこと

5

◆「1分で理解できる解答」の書き方は「書き方1」の応用

- 内容の要点＝解答の要点
- 要点の説明＝解答の要点に関する説明

6

◆書き方1を使って、業務報告書(技術文書)を書いた例

■ 使い方の例1

1. 検討目的

当該業務の検討目的は落石防護対策工法の選定である。令和〇年の道路防災点検で、国道△△号線の□□付近では、落石の危険度が高い箇所が存在が複数確認された。また、それらの中には、早急な対策が必要な箇所も存在した。そのため、国道△△号線を通行する車両等の安全確保のための対策実施が急務となった。そこで、当該業務では、落石防護対策工法を選定する。

- 「1. 検討目的」の内容が明確に伝わる

7

◆書き方1を使って、メール(技術文書)を書いた例

■ 使い方の例2

1. A社との打ち合わせでの結論
入社3年以内の若手技術者を対象とした社員研修を10月5日(木)に実施する。社員研修のテーマは「内容が明確に伝わる技術文書の書き方」である。

2. A社からの要望

- ①対面形式で行ってほしい。
- ②20名/回として2回に分けて社員研修を行ってほしい。
- ③理解度確認演習問題での解答の解説を社員研修の中で行ってほしい。これに伴う社員研修時間の延長は構わない。

3. 今後の予定
社員研修で使うテキストの原稿を9月28日(木)までにA社の高橋課長までメールで送る。

- メールの内容が明確に伝わる

8

◆書き方1の使い方

- 「『文章のかたまり』があったら、そのかたまりの内容の要点をかたまりの冒頭に書き、この要点の説明をその後に書く」
- 「文章のかたまり」とは、技術文書の中で文章がひとかたまりで書いてあるところ
- 例えば、章、節、項あるいは1通のメールなど
- 使い方の例1:「1. 検討目的」
- 使い方の例2:「1通のメール」

9

◆「文章のかたまりだ」と判断した箇所があれば書き方1を使ってその内容を書くことで、日常業務の中で「1分で理解できる解答」の書き方に慣れることができる

- 「1分で理解できる解答」を書く力を鍛えることができる

◆日常業務の中で慣れるのが、「1分で理解できる解答」の書き方に慣れるための最も有効な方法

10

次回の動画

■ 文に変換する力を鍛える

■ 解答を書く力

- 「1分で理解できる解答」を書く力
- 文に変換する力 ←
- 文の作成力

11